令和７年度 公益財団法人 いのちの森文化財団 事業報告書

（令和７年1月1日～令和７年 12 月 31 日）

健康社会教育・文化事業（講座・講演・フォーラムの開催）

企画開催は「ホメオパシー勉強会」1回、「直観力養成講座」2回、「養生塾」2回を開催した。また＜水輪の会＞との共催で、「宇宙の叡智を地球と人類の目醒めのために」をテーマにしたフォーラムを５月の1回を開催した。

第10回目の５月の連休は「日本に霊性の息吹を」と題し、講師にホメオパシー協会会長・獣医師の森井啓二先生、日本エドガーケイシーセンター会長の光田秀先生、国連世界平和人権大使の奥健一郎氏、画家・作家・雅楽歌人のはせくらみゆき氏等をお招きして開催した。参加者 120 名。

１．ホメオパシー勉強会　１回

日程:①　令和7年11月22日～24日

講師:森井啓二先生（日本ホメオパシー協会会長、動物病院院長）

内容:本来、体に備わっているといわれる自己治癒過程に働きかけ、病気の人が全体のバランスを取り戻し回復していくと考えられているホメオパシーを学び、実践に活かすための知識と考え方を学ぶ講座。

参加者:100 名

２．直観力養成講座　２回

日程:①　令和7年1月11日～12日「自然のしくみを学ぶ(1)」

②　令和7年11月1日～2日「自然のしくみを学ぶ(2)」

講師:細金勝治先生（感覚感知学研究家）

内容:自然・直観・閃きのしくみを学び、本物を見極める目を養い、本当の自分に素直に生きる実践を学ぶ講座

参加者:各回 20 名

３．養生塾講座　２回

日程:①令和7年3月20日～23日

②令和7年7月4日～8日

講師:帯津良一先生（帯津三敬病院名誉院長、日本ホリスティック医学協会会長）

内容:日頃気になっている事、主治医に聞けない事、薬・手術・健康食品・サプリメント・病との付き合い方・心の持ち方、気功による呼吸法など、自然治癒力を高める方法を学ぶ

参加者:各回 20 名

４．日本食文化講座

（1）みそづくり・郷土料理体験講座

講師　塩澤研一（いのちの森文化財団代表理事）

みそづくり体験講座や自然農園体験講座を開催。

開催日：2 月 7 日～2 月 20 日

（2）野沢菜漬け作り体験講座・生産者の交流会など信州の伝統食文化の学ぶ

開催日：10 月 21 日～12 月 10 日

（3）醤油づくり講座　岩崎良三氏の講座への参加を募り実施。

開催日：12 月 3 日～4 日

5．高齢者の生きがい創造事業

令和7年度も基金を募りながら、高齢者の生きがい創造および青少年育成のためのシェアハウス施設の設立の準備（設計図作成・見積りなど）を進めた。8年度は施設建設に向けて研究会等を開催し、地域に貢献できるシェアハウス施設の実現を進め、引き続き高齢者の生きがい創造基金を募る。

青少年育成事業（環境保全と里山文化・日本文化の継承、意識教育講座）

1．いのちの森青少年育成公開講座

多彩な講師陣による青少年育成講座。医療、音楽、建築、伝統文化、農業、経済、歴史、人間学、哲学、経営、茶道など様々な分野の学びをとおして心の成長を図る講座をこれまで開催してきた。

1 月 12 日、2 月 27 日、11 月 2 日　細金勝治先生（感覚感知学研究家）

8 月 4 日　川島伸介先生（龍神レイキ創始者）

2．自然環境講座 2 回（5 月～10 月）

飯綱高原山野草観察会、採集、保存、加工について講座と実践を行い、山野草と環境についての学びを深めた。

講師　塩澤研一（いのちの森文化財団代表理事）

また信州の美しい自然に触れ、環境問題を考える講座と実習・清掃活動にも参加し、地域との交流を深めた。水輪の会主催の薬草観察会を行った。

6 月 14 日～16 日　参加者 50 名。

3．コケ玉グリーンアートセラピー　随時開催

講師　塩澤みどり　（意識教育カウンセラー・ケアリスナー・いのちの森文化財団副代表理事）

信州に自生する実生の植物の採集と観察。コケの観察と採集の後、アートセラピーとしてのコケ玉教室を開催した。

4．リーダーシップセミナー　随時開催

講師　塩澤みどり　（意識教育カウンセラー・ケアリスナー・いのちの森文化財団副代表理事）

青少年育成講座の一環としてリーダーシップを養う教育カウンセラーによる実習青少年育成講座の一環としてリーダーシップを養う実習を毎月実施。

5.東日本大震災支援

東日本大震災支援のため指定寄付金を募り、福島第一原発の事故の被災地である福島県南相馬市のこども園などを中心に、信州飯綱高原の自然農法野菜をお届けした。支援額は 110,000 円。

6. 青少年育成基金事業

青少年の育成事業を進めるに当たり、音楽堂の使用に係るインターネット環境、水道光熱費などの経費を青少年育成事業の活動費に充てている。青少年の音楽教育の一貫として喜多郎コンサートを7月に開催した。

自立支援・社会復帰支援事業

社会的に自立が出来ない青少年に対する支援活動。

1. 青少年育成・自立支援個別相談事業

相談者 ： 塩澤みどり(いのちの森文化財団副代表理事・心理教育カウンセラー)他

アドバイザー医師 ： 井上弘寿(精神科医師、いのちの森クリニック院長)

対象 ： 不登校、ひきこもり、ニートなどで悩んでいる本人および家族。

相談者は長年、青少年育成に関わってきた経験に基づき、人間関係や日常生活のことなど可能な範囲で情報提供または助言を行い、相談内容に応じては、医療機関や支援機関や専門家を紹介することを通じて、自立支援・社会復帰支援を行った。

2. カウンセリング 随時

講師 塩澤みどり(意識教育カウンセラー・ケアリスナー・いのちの森文化財団副代表理事)

情報提供事業 (環境問題を基軸に意識の変容を迫る啓蒙事業)

1. いのちの森通信の発行

年 1 回 2,000 部 A3 版 4p を発行した 1 月 15 日

執筆 森井啓二氏(ホメオパシー協会会長・獣医師)

他、多数の執筆者による環境に対する提言、心・脳の働きと人間の行動、などを通して「共生」への意識を高める啓蒙事業を行った。

会議の開催

令和 7 年度は 1 月 26 日第 39 回理事会、2 月 16 日第 40 回理事会、第 20 回評議員会、12 月 13 日第 41 回理事会を開催すべく、それに向けて理事、監事、評議員、顧問に対し事前連絡・日程調整・議案書作成・議事録作成などを行った。3 月には令和 6 年度の事業報告並びに決算報告を長野県に対して定期報告を行った。また 42 回理事会、第 21 回評議員会開催の準備を行った。

令和 7 年度「事業報告の付属明細書」について

令和 7 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。